



ハザードマップの使い方

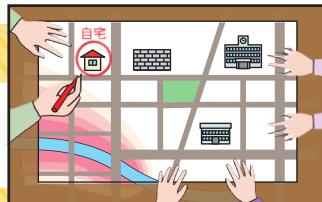
普段
からの
備え

このハザードマップには、普段から災害リスクを認識したうえで、自分が知ておくべき「危険箇所」「指定避難所・指定緊急避難場所」、「避難経路」、「家族との連絡方法」などの必要な情報を書き込んで、「**自分だけのハザードマップ**」を作成しましょう。

STEP
1

自分の位置を確認する

まず、自宅の位置に印をつけましょう。



STEP
2

浸水や土砂災害などの危険な場所を確認する

洪水による浸水被害や土砂災害が想定される範囲は、地図面に色分けして表示されています。自宅周辺でこれらの危険な場所を確認してください。



STEP
3

避難する場所を確認する

地図には町の指定避難所・指定緊急避難場所が記載されています。

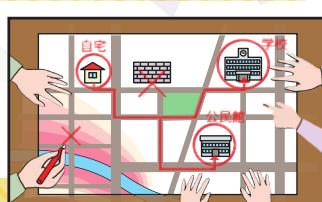
自宅から最寄りの指定避難所及び指定緊急避難場所の「位置」と「名前」を確認しておきましょう。



STEP
4

安全な避難経路を考える

自宅からの最寄りの指定避難所・指定緊急避難場所(3で決めた場所)までの避難経路を考えて書き込んでおきましょう。その際にできるだけ「浸水の危険性がある場所」や「ブロック塀等の危険な場所」を避けて設定しましょう。



STEP
5

災害時の対応の仕方を話し合う

「自宅周辺の危険箇所」、「指定避難所・指定緊急避難場所」、「避難経路」、「避難の仕方」などについて、家族やご近所の方とあらかじめ話し合ってください。

危険が迫った時、自ら避難できるようにしておくことが重要です。

また、支援が必要な方の避難支援や避難の手段などについて話し合っておくことも重要です。



STEP
6

自分たちの目で避難経路を確認する

2から5までで確認した指定避難所・指定緊急避難場所や避難経路について、実際に家族や近所の人たちと一緒に歩いてみましょう。

その際に施設や避難経路の安全性や注意点を確認して記録しておきましょう。



STEP
7

非常時持ち出し品を準備しておく

「非常時持ち出し品リスト」を参考に、避難するときのために持ち出し品について話し合い、必要なものを準備しておきましょう。